





長期モニタリング計画 評価項目の評価シート（イメージ）

資料 8-2

評価項目	Ⅲ 遺産登録時の生物多様性が維持されていること。		
評価項目選定理由	世界自然遺産として登録された基準(クライテリア(x)生物多様性)である。		
評価案の作成主体	事務局とりまとめ(海域WG、エゾシカ・ヒグマWG、河川工作物AP)		
評価年月	2019年●月		
評価対象期間	2012年～2018年(ただし一部のデータは2011年以前のものも使用)		
総評	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 2px solid yellow; padding: 10px; text-align: center; margin-right: 20px;"> <p>評価値</p> <h1>3.3</h1> <p>注視すべき状態</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>良好</p>  <p>要改善</p> </div> <div style="margin-left: 20px;"> <p><各モニタリング結果の評価分布></p>  </div> </div> <p><注視すべき状態> 外来種(アライグマ)の今後の分布拡大に注意が必要だが、その他の主要なモニタリング結果からは、生物多様性への大きな問題は認められない。</p>		
対応するモニタリング項目とその評価	Nb.	モニタリング項目	個別評価
	3	アザラシの生息状況の調査	●
	4	海域の生物相、及び、生息状況(浅海域定期調査)	△
	6	ケイマフリ・ウミネコ・オオセグロカモメ・ウミウの生息数、営巣地分布と営巣数調査	●
	8	知床半島全域における植生の推移の把握(森林植生/海岸植生/高山植生)	×
	9	希少植物(シレットコスミレ)の生育・分布状況の把握	△
	11	陸上無脊椎動物(主に昆虫)の生息状況の把握	●
	12	陸生鳥類生息状況の把握	△
	13	中小型哺乳類の生息状況調査(外来種侵入状況調査含む)	×
	14	広域植生図の作成	○
	16	知床半島のヒグマ個体群	●
	18	淡水魚類の生息状況、特に知床の淡水魚類相を特徴付けるオショロコマの生息状況(外来種侵入状況調査含む)	×
	23	シマフクロウのつがい数、標識幼鳥数、死亡・傷病個体と原因調査	●
	◎	オジロワシ営巣地における繁殖の成否、及び、巣立ち幼鳥数のモニタリング	△
⑩	シャチの生息状況の調査	●	
(基礎情報・参考情報に関するモニタリング項目の実施状況) ○：計画どおり実施、△：一部実施、×：未実施			
24	年次報告書作成による事業実施状況の把握	○	
25	年次報告書作成等による社会環境の把握	○	
◎	「北海道水産現勢」からの漁獲量変動の把握	○	

<p>評価の理由等</p>	<p>(個別モニタリング項目の評価結果に係る背景、評価の理由のほか、評価プロセス等、評価結果に係る特記事項を簡潔に記載。)</p>
<p>遺産地域の管理施策に関する特記事項・課題等</p>	<p>(評価項目の評価結果に密接に関連する管理施策として、特筆すべき事項があれば記載。また、管理施策の現状等を踏まえた今後の遺産管理上の課題について記載)</p>
<p>今後の遺産地域の管理の方向性に関する意見</p>	<p>(調査手法等へのコメントではなく、上記課題を踏まえた「遺産地域の管理の方向性」等についての助言等があれば、適宜記載。)</p>

長期モニタリング計画 評価項目の評価シート（イメージ）

評価項目	VI エゾシカの高密度状態によって発生する遺産地域の生態系への過度な影響が発生していないこと。																			
評価項目選定理由	ユネスコ/IUCNの調査報告書において勧告されている。(勧告10)																			
評価案の作成主体	エゾシカ・ヒグマワーキンググループ																			
評価年月	2019年●月																			
評価対象期間	2012年～2018年（ただし一部のデータは2011年以前のものも使用）																			
総評	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 2px solid orange; padding: 10px; text-align: center; margin-right: 20px;"> <p>評価値</p> <h1>2.4</h1> <p>問題のある状態</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>良好</p>  <p>要改善</p> </div> <div style="margin-left: 20px;"> <p><各モニタリング結果の評価分布></p>  </div> </div> <p><問題のある状態> 一部地域でエゾシカの密度低下や植生回復の傾向が確認されているが、遺産地域の生態系へのエゾシカの影響は引き続き生じている。</p>																			
対応するモニタリング項目とその評価	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 5%;">No.</th> <th style="width: 85%;">モニタリング項目</th> <th style="width: 10%;">個別評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7</td> <td>エゾシカ個体数調整実施地区における植生変化の把握(森林植生/草原植生)</td> <td style="text-align: center;"></td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>知床半島全域における植生の推移の把握(森林植生/海岸植生/高山植生)</td> <td style="text-align: center;"></td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>エゾシカ主要越冬地における生息状況の把握(航空カウント/地上カウント)</td> <td style="text-align: center;"></td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>陸上無脊椎動物(主に昆虫)の生息状況の把握</td> <td style="text-align: center;"></td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>中小型哺乳類の生息状況調査(外来種侵入状況調査含む)</td> <td style="text-align: center;"></td> </tr> </tbody> </table>	No.	モニタリング項目	個別評価	7	エゾシカ個体数調整実施地区における植生変化の把握(森林植生/草原植生)		8	知床半島全域における植生の推移の把握(森林植生/海岸植生/高山植生)		10	エゾシカ主要越冬地における生息状況の把握(航空カウント/地上カウント)		11	陸上無脊椎動物(主に昆虫)の生息状況の把握		13	中小型哺乳類の生息状況調査(外来種侵入状況調査含む)		
No.	モニタリング項目	個別評価																		
7	エゾシカ個体数調整実施地区における植生変化の把握(森林植生/草原植生)																			
8	知床半島全域における植生の推移の把握(森林植生/海岸植生/高山植生)																			
10	エゾシカ主要越冬地における生息状況の把握(航空カウント/地上カウント)																			
11	陸上無脊椎動物(主に昆虫)の生息状況の把握																			
13	中小型哺乳類の生息状況調査(外来種侵入状況調査含む)																			
評価の理由等	(個別モニタリング項目の評価結果に係る背景、評価の理由のほか、評価プロセス等、評価結果に係る特記事項を簡潔に記載。)																			
遺産地域の管理施策に関する特記事項・課題等	(評価項目の評価結果に密接に関連する管理施策として、特筆すべき事項があれば記載。また、管理施策の現状等を踏まえた今後の遺産管理上の課題について記載)																			
今後の遺産地域の管理の方向性に関する意見	(調査手法等へのコメントではなく、上記課題を踏まえた「遺産地域の管理の方向性」等についての助言等があれば、適宜記載。)																			